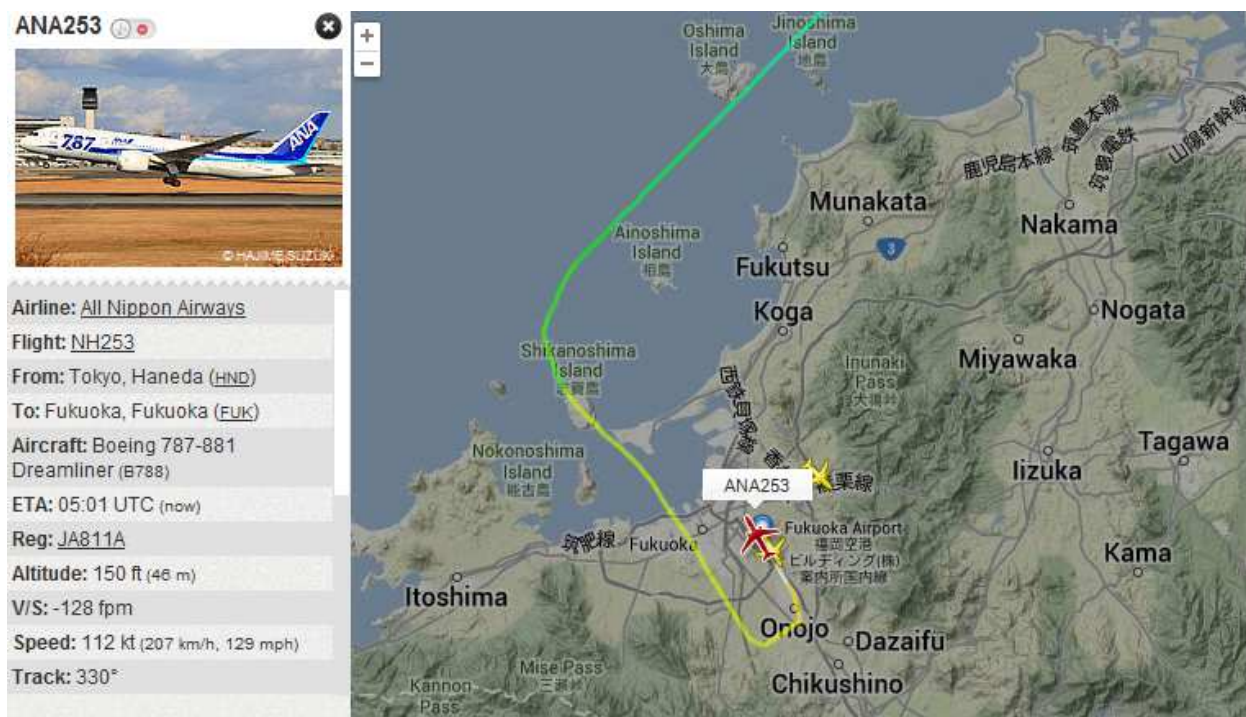


福岡空港への着陸経路

福岡空港は ILS（計器着陸装置）を完備した空港で、滑走路が全く見えなくても着陸が可能です。福岡空港の滑走路は1本なので、北側から着陸する ILS RWY16（計器着陸経路160度方向）と南側から着陸する ILS RWY34（計器着陸経路340度方向）があります。しかし、下記の理由で Visual Approach（有視界着陸）が常用されており、Left Hand Downwind Leg（風下に向かってから左旋回する滑走路と平行な経路）が設定されています。

- ①海の近くで午前と午後で風向きが変わるので、着陸方向を急に変える必要がある。
- ②滑走路1本、便数増加で発着頻度が多いので、途中で ILS 切り替えが出来ない。

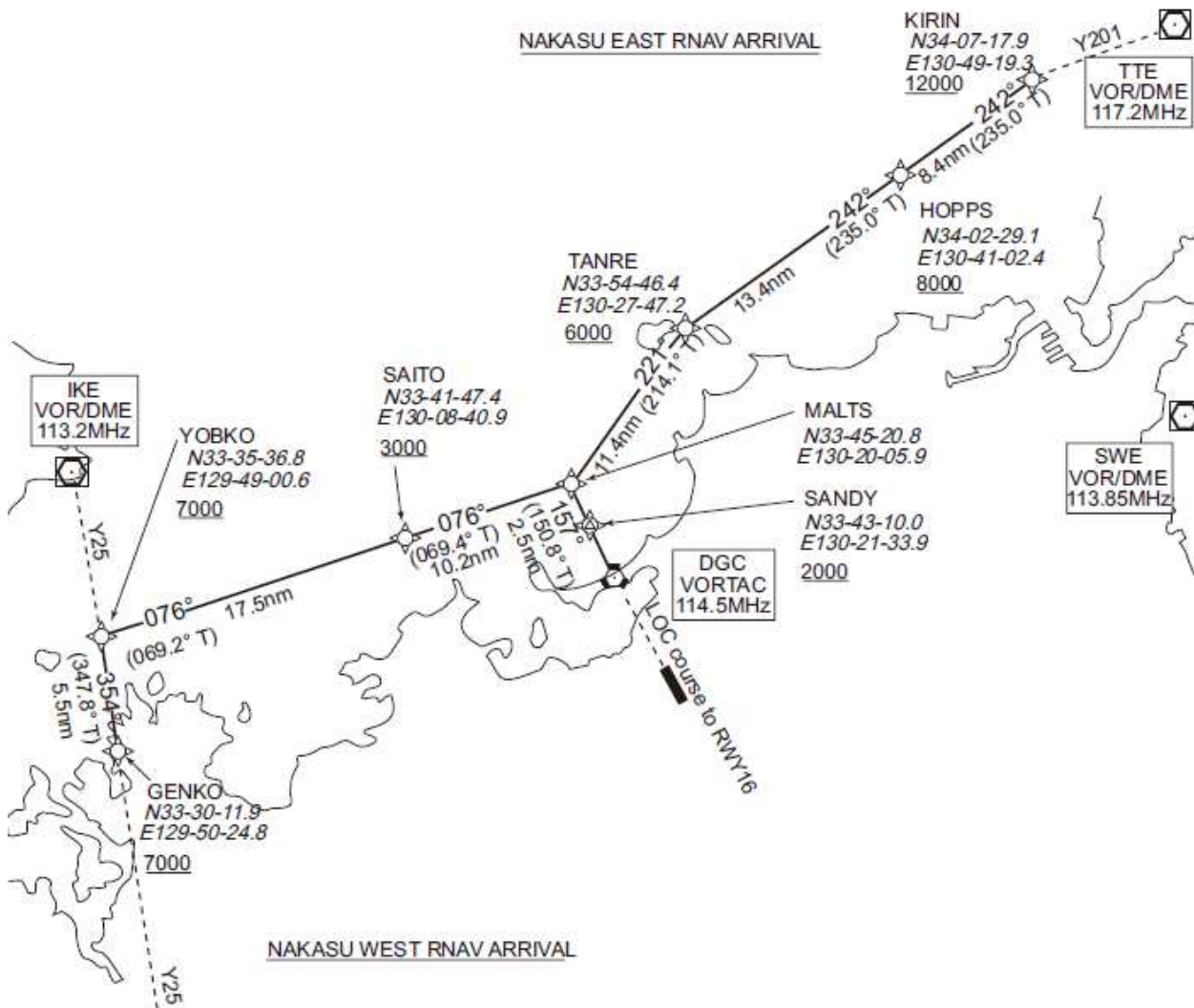
北風運用で一番多いのは Visual Approach で Left Hand Downwind Leg を使った着陸になります。この場合は南福岡を中心に春日公園上空で左旋回します。



ILS RWY16 (計器着陸経路160度方向) の名前とその FIX (通過目標位置) の名前はなかなか洒落た名前が付いています。

ILS RWY16 : NAKASU EAST (中洲東通り)

FIX : KIRIN (キリン) → HOPPS (ホップ) → TANRE (淡麗) → MALTS (モルツ)



ILS RWY34 (計器着陸経路 340 度方向) を体験したい方は天気が悪くて滑走路が見えない状態 (PM2.5 で見えない場合も含む) で北風が吹いているときか 1 日中北風が吹いているときに搭乗して下さい。

私は 50 回くらい着陸していますが、まだ 1 回しか経験がありません。

ILS RWY34 : HAWKS EAST (ホークス東通り)

FIX : KIRIN (麒麟) → ITODA (糸田町) → KAHOC (嘉穂郡) →

DAZAI (大宰府天満宮) → HAWKS (ソフトバンク・ホークス)

